

平成27年度 行政評価委員会評価表

事業名	見本市共同出展事業	担当部	地域振興部
		担当課	商工振興課

基本情報

概要	<p>民間企業が主催する機械要素技術展(※)に葛飾区ブースを設け、区内製造業の企業を集めて共同出展するもの。 ※ 軸受、ベアリング、ねじ、ばねなどの機械要素や、金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた専門技術展。 設計・開発、製造・生産技術部門を中心とした製造業ユーザーが多数来場し、出展企業と商談を行う。</p> <p>(1)開催時期 6月下旬の3日間 (2)場所 東京ビッグサイト (3)出展者数 2,102社(平成26年度実績) (4)来場者数 80,606人(平成26年度実績)</p>
----	--

活動内容	<p>・国内最大規模の見本市である機械要素技術展に葛飾区の共同出展ブースを設け、区内企業から参加を募り出展する。 (平成26年度実績 17社出展)</p> <p>・共同出展ブースとして7小間分の出展スペース(1小間あたり6m×3m)を借上げ、出展料とブースの設営料を負担する。 参加企業は出展料として11万円を負担し、区へ支払う。 (ただし、「葛飾町工場物語」,[葛飾区優良工場]認定企業については1回に限り無料。)</p>
------	---

施策番号	1401	新たな技術や事業の創出を支援するとともに、区内産業の魅力を広くアピールして、産業を活性化します
事業の目的	区内企業が自ら製品及び製造技術をPRする機会を提供し、販売経路の拡大を図る。	

実績情報

成果指標									
目標・実績	指標	指標の根拠	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	目標
	機械要素技術展出展者数	出展した企業数	社	目標	13	14	14		
			実績	12	14	17	17		
	—	—	—	目標	—	—	—	—	
				実績	—	—	—	—	

実績の評価・分析

- ・平成22年度に緊急不況対策として、同展示会への共同出展事業を開始した。同展示会で区が借り上げる小間数は同数であるが、出店希望企業数は増加している。
- ・出展料が毎年上昇している。



活動指標									
目標・実績	指標	指標の根拠	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	目標
	機械要素技術展出展者の募集手段	—	—	回	目標	2	2		
				実績	2	2	2	2	
	—	—	—	目標	—	—	—	—	
				実績	—	—	—	—	
	—	—	—	目標	—	—	—	—	
				実績	—	—	—	—	

方向性

評価してもらいたい点 ①あり方 ②課題	①	<p>製造業の販売経路拡大にかかる事業を複数実施していることから、事業のあり方について検討する必要がある。特に、産業見本市開催事業、見本市出展等経費助成(別紙参照)については、支援の対象となる業種が本事業と重複する傾向にあることから、一定の整理を行っていくことについて意見をいただきたい。</p>
所管課 評価による 方向性	改善	<p>①産業見本市開催事業 平成26年度から区主催による区外見本市を開催している。(H27:120社出展予定)</p> <p>②見本市出展等経費助成 企業が見本市等に出展する際に経費の一部を助成している。</p> <p>以上2つの事業を充実し、本事業をシフトしていくことで、コストの面、事務量の面ともに効率化を図りたい。</p>

コスト内訳(決算)

項目	単位	25年度	26年度	コストの主な内訳
収入				
特定財源	千円	0	0	
都道府県支出金	千円	0	0	
その他	千円	1,100	1,210	企業負担出展料
一般財源(a)	千円	8,247	8,376	葛飾区の負担

事業費	項目	単位	25年度	26年度	コストの主な内訳
直接事業費(b)	印刷製本費	千円	45	45	出展企業紹介チラシ印刷
	委託料	千円	1,953	2,133	ブース設営委託
	使用料及び賃借料	千円	6,569	6,618	展示会出展料
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
人件費等	職員人件費(c)	千円	780	790	
	人件費	千円	780	790	
		人	0.10	0.10	
	再雇用職員	千円			
		人	0.00	0.00	
	間接費(d)	千円	0	0	
	調整額(e)	千円	95	20	
減価償却費	減価償却費	千円			
	金利	千円			
	退職給与引当	千円	95	20	
	(控)コスト対象外	千円			
トータルコスト(f)	千円	9,442	9,606		

単位あたりコスト	項目	単位	25年度	26年度	コスト増減の理由
単位の定義	機械要素技術展出展企業数				
実績数値(g)	社	14	17		
単位あたり区単コスト(a/g)	円	589,071	492,706		
単位あたりコスト(f/g)	円	674,429	565,059		

行政評価委員会評価対象候補事務事業と類似事業について

事務事業名	26年度歳出額 (千円)	26年度歳入額 (千円)	概要	性質	実施主体	会場	他事業との違い
見本市共同出展事業	8,796	1,210	(内容) 国内最大規模の見本市である「機械要素技術展」に葛飾区として共同出展ブースを設け、区内企業から参加を募り出展する。(開催時期:6月中の3日間) (出展料) 参加企業は11万円を負担する。ただし、「葛飾町工場物語」、「葛飾区優良工場」認定企業については1回に限り無料。	イベント	民間企業	東京ビッグサイト	民間企業主催の展示会に葛飾区のブースを確保し、区内企業を10数社出展させるもの。 (実績) 平成25年度 出展数 14社(応募数14社) 平成26年度 " 17社(" 17社) 平成27年度 " 15社(" 18社) (参考)23区内の出展自治体 板橋区(14社)、大田区(12社)、品川区(8社)、墨田区(18社)
産業見本市開催事業	24,030	1,150	(内容) 区内外の発注企業との商談の機会の充実を図り、新規顧客の開拓を支援するため、区内製造業者から出展を募り、区外会場で見本市を開催する。 (出展料) 3×3m 区内企業6万円 区外企業13万円 2×3m " 5万円 " 11万円	イベント	葛飾区	東京国際フォーラム	区主催で都心の会場を借上げ、展示会を実施する。区内企業及び区外企業合わせて120社程度出展させるもの。 (実績) 平成26年度 出展数 107社
見本市出展等経費助成	3,880	0	(内容) 見本市を開催する団体及び見本市に出展する団体又は企業に対し経費を助成する。 (補助対象事業) ①見本市開催事業 ・対象:見本市を主催する区内の工業団体(10社以上が加盟) ・補助額:補助率1/2 限度額100万円 ②見本市出展事業 ・対象:国や自治体が主催、共催または後援する見本市に出展する区内の工業団体または企業 ・金額:補助率1/2 限度額30万円(2回目以降15万円)	補助金	—	—	区内の団体が展示会を開催する際や、団体又は企業が既存の展示会に出展する際、出展にかかる経費を補助するもの。 (実績) 平成25年度 交付件数 18件 平成26年度 " 18件

【見本市共同出展事業】

「機械要素技術展」

平成26年6月25日（水）～27日（金）

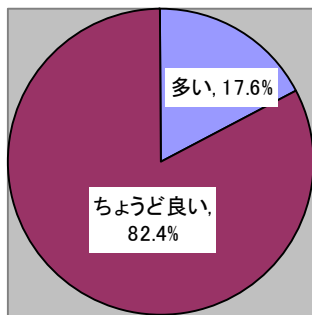
東京ビッグサイト



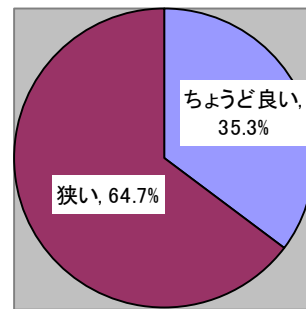
実績及び出展者アンケート結果

出展社数	来場者数	名刺交換数 (一社平均)	商談件数 (一社平均)	出展後の 商談成立数 (一社平均)	出展社意見
17社	約8万人	69.4枚	10.8件	1.1件	<ul style="list-style-type: none"> ・低予算で出展可能であり業界では一番有効な展示会であるので有難い。 ・出展者数が、ここ3年で8社→12社→17社と増えることは良いがスペースが狭くなり、出展品が減ってしまった。

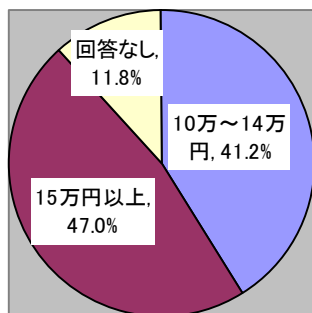
葛飾区ブースの出展企業の数



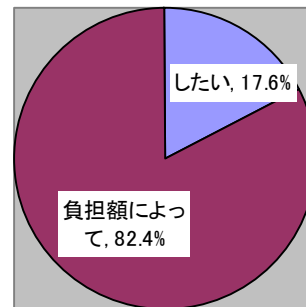
1社あたりの広さ



ブース充実のために負担できる額



来年も共同出展をしたい



【産業見本市開催事業】

「町工場見本市2015」

平成27年2月12日（木）～13日（金）

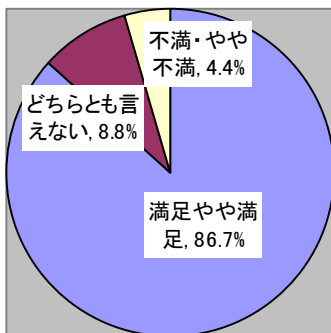
東京国際フォーラム



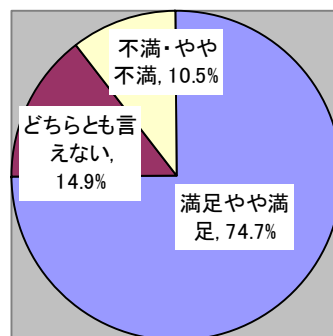
実績及び出展者アンケート結果

出展社数	来場者数	名刺交換数 (一社平均)	商談件数 (一社平均)	出展後の 商談成立数 (一社平均)	出展社意見
107社	約3千人	39.8枚	5.0件	0.4件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段交流のない企業に商品説明することができた。 ・ 目的を持った来場者が多かった。

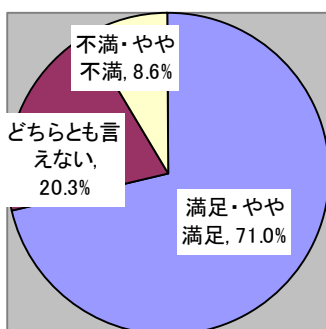
町工場見本市全体の印象



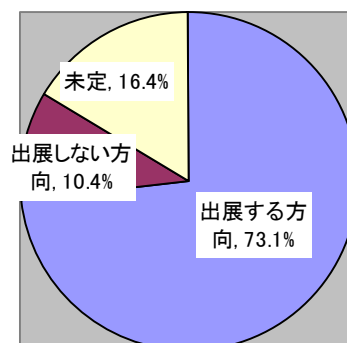
来場者数



来場者の質(商談目的)



次回の出展意向



政策14 産 業

施策 01 新たな技術や事業の創出を支援するとともに、区内産業の魅力を広くアピールして、産業を活性化します

【施策を取り巻く現状と課題】

- 区内には、金属・プレス・スプリング・ゴム・プラスチックなど、多種多様で高い技術力を持った中小の製造業者が数多く操業しています。近年は、国内の大手企業が海外に生産拠点を移している影響もあり、主要取引先からの発注の減少、生産コストの低減化の要求、小ロット・短期間での発注が顕著となるなど、極めて厳しい経営環境に置かれており、工業の事業所数や従業者数、製造品出荷額等は、年々減少傾向にあります。
- 本区では、製造業者の新製品・新技術の開発や販売経路の開拓を支援するとともに、高い技術を駆使して製造された製品を葛飾ブランド「葛飾町工場物語」として認定し、区内外に情報発信するなど、区内産業の活性化に取り組んでいます。今後は、平成25年4月の東京理科大学葛飾キャンパスの開設をきっかけとした、産学公の連携による新たな事業や技術の創出に期待が寄せられています。
- 区内には、工業製品以外にも、江戸期以前からの技法を引き継いでつくられる「伝統工芸品」や各店の自慢の一品など、全国に誇るべき優れた産品が多くあります。これらについても、より一層積極的に区の内外に発信し、葛飾区が産業の集積地であるとのイメージを広め、定着させていくことが課題となっています。


 葛飾ブランド「葛飾町工場物語」
 ロゴマーク

工業の事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

	平成15年	平成17年	平成20年	平成15年から 平成20年の 増減率 (%)
事業所 (事業所)	4,090	3,657	3,139	▲ 23.3
従業者数 (人)	22,193	19,971	17,445	▲ 21.4
現金給与総額 (万円)	7,192,530	6,484,279	5,583,504	▲ 22.4
原材料使用額等 (万円)	15,154,756	11,988,142	12,531,174	▲ 17.3
製造品出荷額等 (万円)	32,808,002	27,139,351	24,338,504	▲ 25.8
粗付加価値額 (万円)	16,874,471	14,473,569	11,290,253	▲ 33.1

出典：東京都総務局「東京の工業統計調査」(各年12月31日現在)

【施策の方向】

□ 優れた製品や技術を持った製造業者が多いという強みを活かし、葛飾ならではのブランド力を高め、販路の拡大や事業者の意欲向上につなげていくため、今後も引き続き、区内で製造された製品や技術を区内外に積極的にPRします。また、伝統工芸品やその他の優れた製品についても、その魅力を広くアピールしていきます。



機械要素技術展への出展

- 新製品・新技術開発に対する支援を継続しながら、区内企業と東京理科大学との間で新たに産学公の連携体制を構築し、大学の有する先端的な技術のシーズと区内の町工場が得意とする製造・加工技術を連携交流させることで、新たな付加価値創造の場をつくり、区内産業の活性化を進めます。
- 区内外及び業種を超えた中小企業間の交流の機会を充実させ、多様な連携を進めることにより、共同開発製品の企画・販売など区内産業の活性化につなげていきます。
- 区内産業の将来を支え、リードする優秀な人材を確保するため、事業者の行う人材育成の取り組みを積極的に支援します。

【指標と目標値】

指 標	指標の説明又は出典	現 状 値 (平成23年度)	平成27年度	平成30年度	平成34年度
東京理科大学への技術相談件数（件）		—	10	12	16
展示会等出展企業数（社・累計）		—	172	408	707

【事業者の役割】

- 自ら顧客のニーズを捉え、新たな製品の企画・販売に取り組みましょう。また、異業種・同業種間などの連携により、地域産業の活性化に取り組みましょう。
- 展示会への出展など、自社の製品や技術などを積極的にPRして、新たな取引先を開拓しましょう。
- 事業の継承や新分野への参入などの企業戦略に応じ、必要な人材を計画的に育成しましょう。

【計画事業】

事業名	事業内容
葛飾ブランド創出支援事業	区内製造業が開発した優良製品等に「葛飾ブランド」を付し、それらの製品等の持つエピソードを元にした「物語集」を作成・配布するとともに、展示会への出展などによるPRを行います。
〈新〉 東京理科大学との産学公連携推進事業	東京理科大学葛飾キャンパスの開設を契機として、区内企業と大学との間で新たに産学公連携体制を構築し、大学の有する先端的な研究機能と葛飾の町工場が得意とする製造・加工技術との連携交流を推進します。
〈新〉 区内産業人材育成支援事業	企業が人材育成のため、技術・技能・知識等の習得を目的として、従業員を大学・専門学校等に通学させる際、学費の一部を助成します。区内企業の人材育成を支援し、多様な技術ニーズに対応できる人材を増やすことで、区内産業の活性化を推進します。
〈新〉 産業見本市開催事業	多種にわたる区内製造業を集め、区が見本市を開催することにより、区内外の発注企業との商談の機会の充実を図り、新規顧客の開拓を支援します。
〈新〉 伝統産業販路拡大支援事業	区内の伝統工芸士で組織する団体が自ら製作した商品を展示及び販売する催しを区外で開催する場合に、その経費の一部を助成し、伝統工芸品の販路拡大と伝統産業の振興を図ります。
〈新〉 フードフェスタ	葛飾区食品衛生協会、葛飾区観光協会等と共同で、区内食品の展示販売会を実施し、区内外にその魅力を広く発信することで、区内に数多くある飲食業・食品製造業等を支援するとともに、新たな観光資源を創造します。

〈事業一覧〉（平成24年度実施）

葛飾産野菜品評会事業	新製品新技術開発支援事業
有機農業推進事業	見本市出展等経費助成
見本市共同出展事業	知的所有権取得助成
営農集団研究活動助成	異業種交流会支援事業
葛飾ブランド創出支援事業	創業支援施設管理運営
産学公連携推進事業	